対象：２歳児をもつ保護者

 時間：８０分程度

|  |  |
| --- | --- |
| ねらい | ○　2歳児の特徴を確認する。○　2歳児への関わり方の基本を学ぶ。 |
| 実施のポイント（評価など） | * 子どもに共感しながら、自立を援助することの大切さを理解することができる。
 |
| 事前準備 | ○　あらかじめ３～４人のグループに分かれておく。○　筆記用具　　○　ワークシート　　○　アンケート用紙（必要に応じて）○　付せん紙（青・黄）　　○　模造紙 |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 10分**導 入** | ・ワークの趣旨説明・３つの約束・アイスブレイク　（我が子自慢） | ・「我が子自慢」＋名前で自己紹介をする。 | ３つの約束 |
| 15分**展 開** | **ワーク1**・最近の子どもの様子（困　ったこと）をグループで　話し合う。 | ◎最近のお子さんの様子（困ったこと）　を共有することで、困っているのは自分だけではないことを理解することをねらいとする。・個人で付せん紙（青）に書き出す。・模造紙に付せん紙を貼り付けながら自由に話し合う。その際、似た意見の付せん紙をまとめる。 | 付せん紙（青）模造紙 |
| 30分 | **ワーク2**・ワーク１で出し合った事柄の対応策をグループで話し合う。 | ◎ワーク１で出た事柄の対応策を考え合うことで、いろいろな関わり方に気付くことをねらいとする。・ワーク１で出し合った困った事柄の対応策を考え、付せん紙(黄)に書き出す。・ワーク１で使用した模造紙のそれぞれの事柄の近くに付せん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。 | 付せん紙（黄）ワーク１の模造紙 |
| 15分 | **ワーク3**・ワークシートにある資料を読む。・ワーク２で出た内容を参考に、自分の子育てに取り入れていけそうなことを考え、記入する。 | ◎いやいや期をのりこえるために、自分にできそうなことを考え、“これならできるかも”“やってみよう”と前向きに考えられるようにすることをねらいとする。・資料を読み、２歳児の特徴を確認することによって、２歳児への関わり方のヒントになることを気付かせる。・人それぞれの対処法を知り、実際にできそうなことを自分自身の中で整理する。 | ワークシート |
| 10分**まとめ** | **ふりかえり**・感想を記入する。・グループ内で発表し、共有する。 | ・アイスブレイク時の「我が子自慢」を思い出して我が子が愛おしい存在であることを再認識する。 | ワークシート |